広島県感染症発生動向週報

〔広島県感染症予防研究調査会〕

平成30年第26週(6月25日~7月1日)【速報】

1 五類定点疾患週報情報

No.	疾患名	週 間報告数	定点当たり	過去5年 平均※1	発生記号	No.	疾患名	週 間 報告数	定点当たり	過去5年 平均※1	発生記号
1	インフルエンザ ※2	0	0.00	0.02		10	ヘルパンギーナ	111	1.54	1.43	
2	RSウイルス感染症	43	0.60	0.06	1	11	流行性耳下腺炎	10	0.14	0.67	\nearrow
3	咽頭結膜熱	43	0.60	0.93	$\langle \rangle$	12	急性出血性結膜炎	6	0.32	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	152	2.11	2.31	\searrow	13	流行性角結膜炎	13	0.68	1.00	♦
5	感染性胃腸炎	383	5.32	5.19		14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
6	水痘	27	0.38	0.50	\Rightarrow	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.04	
7	手足口病	170	2.36	3.43		16	マイコプラズマ肺炎	1	0.05	0.17	
8	伝染性紅斑	2	0.03	0.23		17	クラミジア肺炎 ※3	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	28	0.39	0.59	♦	18	感染性胃腸炎(ロタウ イルス) ※4	0	0.00	-	
					※2 ∦	過去5年間の同時期平均(定点当り) 鳥インフルエンザを除く。 ※3 オウム病を 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年		告が始まりまし	.t=.		

発生記号(前调と比較)

					急増減	
	内科定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点		X
疾患No.	1	1~11	12,13	14~18	増減	Q
定点数	43	70	19	21	微増減	\ \ \ \ \
上	43	12	19	Z I	構げい	

急増減	1		1:2以上の増減
増減		A	1:15~2の増減
微増減	Ž	$\stackrel{\circ}{\triangle}$	1:1.1~1.5 の増減
横ばい		\Rightarrow	ほとんど増減なし

11 A A A A	警報		用士。然人小刀	保健所別の流行状況 (定点当たり)							
対 象 疾 患 名		継続 基準	開始 基準	県内の発令状況	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
ヘルパンギーナ	6	2		警報発令中 (H30.6.28 発令)	1.90	2.00	1.00	3.50	1.38	0.63	1.73
流行性角結膜炎	8	4		警報発令中 (H30.6.21 発令)	3.00	1.00	0.00	0.00	0.63	0.00	1.00
咽頭結膜熱	3	1		警報発令中 (H30.5.31 発令)	0.50	1.50	0.11	2.25	0.54	0.13	0.45

注)原則として、警報・注意報は県内いずれかの保健所管内で開始基準以上となった場合に発令し、すべての管内で継続基準未満となった場合に解除します。

【急增減疾患(前週比2倍以上增減)】

- ●急増疾患 RSウイルス感染症 (20件 → 43件)
- ●急減疾患 なし

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾 患 名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
- 類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5	1	1	1	1	1		
三 類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	7	日本紅斑熱	2			1		1		
四規		レジオネラ症	5		2			2		1
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	1					1	
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1							1
】 五類全数	25	後天性免疫不全症候群	2					1		1
□ 丑 <u>類</u> 王毅	20	梅毒	3					3		
		播種性クリプトコックス症	1					1		
		百日咳	16		10	1		2		3

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/